

2022年6月5日(日)午前10時30分

《聖霊降臨節第1主日・聖霊降臨日(ペンテコステ)》

※本庄教会の礼拝では
聖書は『新共同訳』を
賛美歌は『讃美歌21』を
使用しています。

前奏	
招詞	エゼキエル書 36:26、28
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	*下記をご覧ください。
讚美	352※1, 3のみ(来たれ全能の主) **
交読	『交読詩編』 122:1~9
信仰告白	日本基督教団信仰告白*2ページ目をご覧ください。
聖書	旧約 詩編 84:2~10 (旧約 921頁) 新約 ヨハネによる福音書 14:15~23 (新約 197頁)
祈り	
讚美	343※1, 4のみ(聖霊よ、降りて) **
説教	『キリストの愛を共に見る教会』 疋田義也 牧師
祈り	
讚美	342※1, 2のみ(神の霊よ、今くだり) **
聖餐	疋田國磨呂 牧師
感謝の祈り	
讚美	81※奏楽のみです(主の食卓を囲み)
献金	
頌栄	29 (天のみ民も)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	**讚美歌は短めとなります。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たさせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はそのひとり子、我らの主、イエス・キリスト
を信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤ
より生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを
受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に
くだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天
に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、か
しこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きた
まはん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交
はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえ
のいのちを信ず。

アーメン。

日本基督教団信仰告白

われ しん こくはく
我らは信じかつ告白す。

きゆうしんやくせいしよ かみ れいかん な あかし ふくいん しんり しめ
旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理を示
し、きょうかい よ ゆいいつ せいてん せいしよ せいれい かみ
教会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊によりて、神
につき、すくい まった ちしき われ あたう かみ ことば しんこう
救ひにつきて、全き知識を我らに与ふる神の言にして、信仰
せいかつ あやま きはん
と生活との誤りなき規範なり。

しゅ けいじ せいしよ あかし ゆいいつ
主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる唯一の
かみ ちち こ せいれい さんみいったい かみ まう みこ われ つみびと
神は、父・子・聖霊なる、三位一体の神にていましたまふ。御子は我ら罪人
すく ひと な じゅうじか おのれ まった いげにえ
の救ひのために人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を全き犠牲とし
かみ われ あがない え
て神にささげ、我らの贖ひとなりたまへり。

かみ めぐ われ えら しん しんこう われ つみ
神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我らの罪を
ゆる ぎ ちう かわ めぐ せいれい われ きよ ぎ
赦して義としたまふ。この変らざる恵みのうちに、聖霊は我らを潔めて義の
み むす みわざ じょうじゅ もう
果を結ばしめ、その御業を成就したまふ。

きょうかい しゅ からだ めぐ め もの つどい きょうかい
教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集ひなり。教会
おおやけ れいはい まち ふくいん ただ の つたえ しゅ ばんさん
は公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝へ、バプテスマと主の晩餐との
せいれいてん と おこな あい はげ しゅ ふたた きた もう ま のぞ
聖礼典を執り行ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待ち望む。
われ しん よよ せいと とも しとしんじょう こくはく
我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。